

区政Now! (令和3年9月号)

「区政は区民を幸せにするシステムである」・・・西川太一郎

発行：荒川区

お知らせ



区民の皆さまには、日常生活の様々な場面で、新型コロナウイルス感染症拡大防止にご協力をいただき感謝申し上げます。しかし、感染は急拡大しており、感染力が強く重症化率が高い変異ウイルス（デルタ株等）の感染も増加しています。

換気の悪い「密閉」空間、間近で会話や発声をする「密接」場面、多くの人が集まる「密集」場所の「3密」が揃う場所だけでなく、このうち1つだけの「1密」でも感染リスクはあります。

ご自身や大切な人を守るため、さらなる感染拡大防止にご協力をお願いします。

主な事業

● 新型コロナウイルス感染症の急激な感染拡大を踏まえた区独自のさらなる緊急対策を実施します

- ◇ これまでにない拡大を見せる感染状況を踏まえ、区では、新型コロナウイルス感染症による影響から区民の皆さまを守るため、区独自のさらなる緊急対策を行うこととなりました。
- ◇ 感染拡大による医療体制のひっ迫に伴い、自宅療養者が増加していることから、特に自宅療養者の重症化を防ぐための対策を始め、病床確保やワクチン接種に係る以下の対策を実施していきます。

1 自宅療養者の急増を踏まえた緊急対策

(1) 自宅療養者に対する療養支援の強化

自宅療養者への健康観察を専門で行う3名の看護師チームを新たに配置するとともに、療養者の状態に応じて訪問看護ステーションが対応するなど、きめ細かい療養支援を行っていきます。

(2) 自宅療養者に対する救急相談の充実

自宅療養者の容態急変に対応するための救急相談対応について、これまでの「1名体制」から「3名体制」に拡充するとともに、新たにオンライン診療に対応していきます。また、これまでの「平日夜間・休日24時間体制」から「平日・休日いずれも24時間対応」に対応時間の拡大を図っていきます。

(3) 自宅療養者に対する薬剤処方の実施

薬剤の処方を希望する自宅療養者について、荒川区医師会と連携・協力し、自宅に居たまま必要な薬を処方できる体制を整えていきます。また、療養者の状況に応じて診察が必要な場合は、都医師会と連携・協力し、往診を行っていきます。

(4) 自宅療養者に対する支援物資の充実

多世代にわたる自宅療養者が必要とする食料等について、療養者ニーズに合わせ、これまで以上にきめ細かく、かつ、迅速に自宅に届けることができるよう、配送体制の充実を図っていきます。

2 感染拡大を踏まえた安心できる体制の構築

(1) 入院病床の増床等の医療体制の充実

区独自に確保している入院患者用の病床について、1人でも多くの区民が入院できるよう、これまでの「12床」から「20床」へ増床を行います。

(2) 感染疑いや濃厚接触者等の相談体制の充実

感染が疑われる方や濃厚接触者等の相談に的確に対応できるよう、看護師「7名体制」を「10名体制」に、事務「3名体制」を「4名体制」に相談体制の充実を図っていきます。

(3) PCR 検査体制の充実

PCR 検査件数の急増に対応できるよう検査体制の充実を図るとともに、荒川区医師会と連携・協力し、区内医療機関で陽性と診断された場合に、濃厚接触者となる同居家族についても当該医療機関で即時に PCR 検査を実施できるよう、PCR 検査体制の充実を図っていきます。

3 ワクチン接種の迅速かつ着実な実施

10月末を目途に、希望する全ての区民の接種が完了できる体制を整備します。

● 障がい者地域自立生活支援セミナー「より面白くなる！パラスポーツ観戦」を開催しました

◇ 7月26日、あらかわエコセンターで、障がい者地域自立生活支援セミナー「より面白くなる！パラスポーツ観戦」を開催しました。

◇ 障がい者の方々やそのご家族等を対象にパラリンピックの正式種目について、競技内容や見どころに関する講義のほか、実際にパラスポーツを体験してもらい、パラリンピック開催を前に、パラスポーツをより面白く観戦してもらうことをねらいとしたものです。

◇ 参加者からは、「実際に体験して、楽しさやルールが分かるとより一層興味が湧きますね。ボッチャはジャックボール（目標球）を狙って投げるのが意外と難しかったです。」という声をいただきました。



ボッチャ競技体験の様子

● 令和3年度第59回館蔵資料展「絵葉書にみる近代あらかわ」を開催しています

◇ 荒川ふるさと文化館では、59回目となる館蔵資料展として、荒川区の近代の風景を写した絵葉書等を展示しています。

【主な展示内容】

令和4年春頃にリニューアルオープン予定のあらかわ遊園の前身である、民営遊園地「あらかわ遊園」の大正時代の絵葉書をはじめ、荒川区を代表する名所が映し出された絵葉書のほか、明治43年の大水害の際に発行された水害絵葉書など、近代の荒川区の風景や出来事などを題材とした絵葉書約120点を展示しています。



絵葉書(大正時代のあらかわ遊園)

また、大正15年に発行された絵葉書「日暮里区画整理工事竣工記念」は、小型カメラによるスナップ撮影で名をはせた昭和の写真家、木村伊兵衛氏が若かりし頃、日暮里町に開業した写真館による絵葉書で、木村伊兵衛の初期の活動を窺い知ることができます。

【開催期間】

7月31日～9月12日 午前9時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで）
休館日：月曜日(祝日の場合は翌日)、第2木曜日

【開催場所】

荒川ふるさと文化館 1階企画展示室（荒川区南千住6-63-1）

入館料：100円 ※障がい者及びその介助者、区内在住の中学生以下、65歳以上は無料